

ヘアリーベッチ

肥料高騰対策に

特徴

- 水はけの良い土壌を好む。
- 根粒菌によって空中窒素を土壌に固定し、地力増進や土壌物理性改善等への効果を発揮する。後作物の減肥に役立つ。
- アレロパシー効果による一年生雑草抑制が期待できる。
- 藤色の花が咲き、景観美化や蜜源植物として利用できる。

湿害が気になる圃場へ

※ヘアリーベッチ自体は耐湿性が低い草種であるため、排水対策を実施して栽培してください。

藤えもん (マッサ)

- 低温伸長性と耐湿性に優れた早生品種。
- 生育、開花が早いので、早期すき込みに適する。
- 寒太郎との混播利用で長期的な開花リレーが可能。

長期間栽培による雑草抑制、 寒・高冷地の越冬利用に

寒太郎 (サバン)

- 越冬性に優れ、積雪地帯での秋播き越冬栽培が可能。
- 晩生品種で生育期間が長いので、早生品種に比べて長期にわたり雑草抑制効果が期待できる。
- 藤えもんとの混播利用で長期的な開花リレーが可能。花の位置が高いため、蜜源作物としての適性が高い。

畑地への春播き栽培へ

まめ助 (ナモイ)

- 早生品種で初期生育が旺盛なため、雑草との競合力に優れ、雑草抑制効果が高い。

栽培のポイント

- 水はけが悪い圃場（水田など）へは明渠や暗渠を作り、排水対策を行う。
- 減肥目的で利用する際は収量調査を行い、すき込み窒素量を算出する。
 - ① 平均的に生育している場所の1㎡あたりの生草重を計測（0.25㎡の生草重×4＝1㎡の生草重でも可）
 - ② 生草重kg/㎡×4＝窒素量kg/10a ⇒慣れてきたら目視で確認（草丈約40cmで8kg/10aの窒素量）
 - ※ すき込み窒素の後作での利用率は40～60%（土壌や気温によって異なる）。
- つる性のため、すき込む際は細断機（ハンマーナイフモア、フレールモア）で細断してからすき込む。細断機が無い場合は草丈約30cmですき込む。